附属平野グロッサリー 【社会科】

教科	分野	用　　語	考	確	発	定　　義
社	全	材料から考える	○	○		考えるための材料となる知識を正しく把握し、情報を判断する。
社	地・公	地図・グラフ・統計資料を読む		○		地図・グラフ・統計資料などから適切に情報を読み取ったことを理解する。
社	歴	史料を読む		○		史料から適切に情報を読み取る。
社	全	情報を検討する		○		再現した情報を個人、あるいはグループで検討し、確かな手法で情報の妥当性を高める。
社	全	情報を比較する		○		いくつかの情報を把握することで、その相関関係に気がつく。
社	全	情報を再構成する		○	○	学習した情報を課題に応じて適切に使用する。
社	全	情報を分析する	○	○		事柄を一つ一つの要素に分け、その構成を捉える。
社	全	情報から考察する	○	○		資料や調べた結果（事実）から、物事を明らかにするために深く考える。
社	全	既知の情報を図に表す			○	主題図・グラフなどに情報を書き込み、具体化する。
社	歴	歴史の流れを説明する			○	史実の流れを順序立てて理解し、他者に伝える。
社	公	社会の現状と課題を把握する		○	○	諸制度の運用や社会の現状と課題を論理的に説明する
社	全	課題に対してせまる			○	課題についての知識・情報を獲得する。
社	全	課題の対策を立てる			○	課題に対する論理的な策を述べる。
社	全	発表する			○	他者に学習した内容を論理的に伝える。
社	全	価値判断する	○	○	○	当事者の立場に立って課題や課題に対する態度を明らかにする。
社	全	四人組で活動する	○	○	○	四人がそれぞれの役割を意識し、適切な関わりの中から論理的な結論にたどり着く。
社	全	二人組で活動する	○	○	○	互いの意見を聞き合いながら、論理的な結論にたどり着く。
社	全	四人組で意見をすり合わせる		○		四人のがそれぞれ知識を持ち寄り、その知識の妥当性を検討する。
社	全	調べたことを共有する		○	○	別々の人が調べた内容をお互いに相手に伝えあい、全員で活用する。
社	全	考えたことを共有する	○	○	○	別々の人が考えたことをお互いに相手に伝えあい、論じ合う。
社	全	多角的、多面的に考える	○	○		社会的事象を様々な側面（多面的）で捉え、異なった立場（多角的）で捉える。